

# 6月定例議会

# 行政報告 (1)

平成21年6月定例議会は、6月16日に開会、6月26日までの会期で開かれました。議会初日には、施政方針と上程された各議案の大綱質疑、また18日、19日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会へ付託された議案を審議し、26日の最終日に採決が行われました。6月定例議会の行政報告についてお知らせします。

## 総務部関係

### ■総務課

定額給付金は、給付対象1万4878世帯に対して、給付金申請書を4月6日に発送し、申請受付を開始しました。申請受付は94.4%、給付金の振込は91.5%完了(5月29日現在)しております。今後は未申請者へ再通知等の対応を検討します。

北朝鮮からの飛翔体の発射予告を受けた対応として、「北秋田市危機管理連絡室」を立ち上げ、県と連携して情報収集にあたり、県と連携して情報収集にあたり、被害が発生した場合等に備え、各部署に周知を図りました。北朝鮮では、さらに地下核実験などが行われており、市民に対する重大な脅威として捉え、安全・安心の確保と不安解消に向けて可能な対策に努めます。

新型インフルエンザは、国内での感染者が拡大している状況にあり、



▲県内初の感染者の確認を受けて開かれた第2回新型インフルエンザ対策本部会議

感染者は384人(6月2日現在)となっております。市では4月28日に「北秋田市新型インフルエンザ対策連絡室」を設置し、発熱相談と情報収集業務を行ってまいりましたが、国内感染者の発生を受け「北秋田市新型インフルエンザ対策本部」を設置し、相談窓口業務や情報収集を継続しながら、医療機関及び関係機関等との連絡調整や医療体制の整備、住民への情報提

供を行っております。また、県内発生時に備え発熱外来センターの設置準備を進めています。市内の医療機関が連携した体制で、感染者の発生状況を注視しながら対応強化に努めます。

### ■総合政策課

機構改革は、課の配置変更等に伴う戸惑いも一部にありましたが、住民への周知を図りながら、住民サービス向上に努めています。

平成20年度の国の補正予算で創設された地域活性化・生活対策臨時交付金、6億178万4千円全額を平成21年度に繰越しておりますが、5月までに約2億2千5百万円の事業が発注され、残りの事業もすみやかに着手する予定となっております。

行財政改革は、第1回本部会議を開催し、「行財政改革大綱」の成案策定に向けて協議を行ないました。

広報は、月1回の発行となりまして、関係各課との連絡を密にし、情報提供の面で市民に不便をかけないよう努めます。

### ■内陸線再生支援室

秋田内陸線沿線ふるさと教育推進事業は、北秋田市、仙北市の小学校が行なう内陸線沿線の地域資源を活用した「ふるさと教育」に対して、内陸線の運賃相当額の助成をすることにしており、5月には鷹巣・鷹巣

南・合川・森吉中学校が実施しています。

## 財務部関係

### ■財政課

平成21年2月1日～5月25日までの工事等発注状況(500万円以上)は37件、契約額は8億4345万1千円です。

### ■税務課

平成21年度の当初課税状況は、軽自動車税は課税台数1万6391台、課税額が7205万円です。また、固定資産税は納税義務者数が1万712人、課税額は15億4649万1千円です。

## 市民生活部関係

### ■生活課

春のクリーンアップは、4月19日早朝1時間程度、市内全域で実施し、市民の方に一斉に取り組んでいたいただきました。当日は、小中学校や各種団体・民間企業等のボランティアによるクリーンアップも行われました。

春の狂犬病予防注射、犬の登録は、市内109か所で行われています。「春の交通安全運動」が実施され、初日には、市役所本庁舎前で合同出発式を、森吉庁舎前では総決起集会を開催して、交通安全推進の決意を新たにしました。

### ■総合窓口課

平成21年4月末日現在の住民登録者数は、3万8089人でその内訳は、男1万7958人、女2万131人、世帯数は1万4620世帯です。

戸籍電算システム導入事業は、プロポーザル方式により選考の結果、富士ゼロックスシステムサービス株式会社を選定し、委託契約を締結、平成22年3月31日を履行期限とした業務を発注しました。



▲戸籍電算システム導入事業に係る戸籍簿の複写作業

国民健康保険は、平成21年3月末の加入世帯数は6150世帯、被保険者数は1万137人で、その内、前期高齢者は4408人です。後期高齢者医療制度の被保険者数は7474人で、その内、若年障害者認定数は295人です。

総合窓口センター  
機構改革に伴い、合川、森吉、阿

## 健康福祉部関係

### ■福祉課

生活保護世帯数は、325世帯、427人(5月1日現在)です。自立支援給付の利用者は、介護給付が116人、訓練等給付が63人、旧法施設入所等が123人、自立支援医療の更生医療が37人、育成医療が4人、精神通院医療が471人(4月1日現在)です。

子育て応援特別手当は、対象となる335世帯へ申請書を発送し、受付を開始しました。293世帯(5月末現在)が支給を受けています。

保育園(公立8・私立4)に入園した園児879人は、楽しい保育園生活を送っております。病児・病後時保育事業は、看護師の配置に伴い、公立7保育園と子育てサポートハウス「わんばあく」で実施しています。

児童手当は、対象者1504人に「現況届」用紙を送付しています。市の単独事業「ひとり親家庭就学祝金」は、小学校及び中学校への入学時の経済支援として、小学生23人、中学生50人の児童生徒に交付しました。

少子化対策は、男女の出会いの機会を創出するため、「北秋田市コウノトリ委員会」により、秋田内陸縦貫鉄道や大館能代空港を利用して、出会いの場を計画します。

### ■高齢福祉課

高齢者障害者等外出支援サービスは、利用登録者数が638人で、延べ利用回数は7852回と利用者、利用回数ともに増加しています。

食の自立支援は、利用登録者が273人で、延べ利用食数は2万9323食と利用が伸びています。

家族介護慰労金は、支給人員が349人で、在宅で介護度の高い高齢者を支援している家庭が年々増加しています。

介護保険は、要支援・要介護認定者数が2626人(4月末現在)となっており、その内サービス受給者が2127人で、認定者数に対する受給率は約81%となっております。

高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画は、関係部署との連携を図り、市民の理解・協力を得ながら事業推進に努めます。



▲内装作業の仕上げが進められている北秋田市民病院の院内

### ■阿仁病院

平成20年度の決算見込みは、外来患者数が2万9509人、外来収益額はおよそ3億2000万円です。10月からは市立診療所への移行を予定しています。

### ■国民健康保険合川診療所

平成20年度の外來患者数は、1万3948人、外來収入額はおよそ1億7958万円です。